



第3回大規模災害対策協議会を開催しました！

2024年12月5日（木）に第3回大規模災害対策協議会を千葉県社会福祉センター会議室で開催し、事務局合わせて13人の参加がありました。今回は千葉県社会福祉協議会と懇談をおこない、千葉県社会福祉協議会からは千葉県災害ボランティアセンターの概要や能登半島地震における災害ボランティアセンターの活動などを報告していただき、生協からは能登半島地震における生協の取り組みについて報告し交流をおこないました。



全体の様子

はじめに、千葉県社会福祉協議会 会田地域福祉推進部長、続いて、千葉県生協連尼崎専務よりあいさつがありました。

千葉県社会福祉協議会の活動報告として、牧内副主査より千葉県災害ボランティアセンターの概要、能登半島地震における災害ボランティアセンターの活動、及び生協に期待することについて以下の内容の報告がありました。

- ① 災害ボランティアセンターは被災者の生活再建のためにボランティアの力を届ける仕組みであり、ボランティアの気持ちを受け止めて、安全にスムーズに被災者のニーズに結び付けることが大切である。一般的には総務班、ニーズ班、情報班、受付・マッチング班、オリエンテーション班、送迎班等の班をつくって役割分担し、運営をおこなう。
- ② 能登半島地震では石川県、新潟県、富山県で災害ボランティアセンターが開設し、現在も13市町で活動中である。全国を9ブロックに分けて、それぞれの社協職員が応援に入っている。
- ③ 生協に期待することは平時からつながりをもち被災地社協への支援をお願いしたい。また千葉県で災害ボランティアセンターが立ち上がった場合は運営支援も手伝ってほしい。

次に日本生協連中央地連の佐藤担当より能登半島地震における生協の支援活動について報告がありました。コープ被災地支援センターを立ち上げ災害ボランティアセンターの支援等もおこなってきたことの報告があり、コープデリ連合会、生活クラブ生協、中央労働金庫、千葉県生協連からそれぞれの取り組みが報告され、懇談をおこないました。

次回は2025年3月21日（金）を予定しています。

以上